

まちづくりアンケート調査を行いました

平成29年に策定した「かすみがうら市総合計画前期基本計画」に取り組みつつ、令和4年4月からの後期基本計画に向けた計画見直しを進めるため、郵送による「まちづくりアンケート調査」を実施し、住みやすさや支援策、暮らしの変化などにさまざまなご意見が寄せられました。ご協力ありがとうございました。

アンケート結果の概要をお知らせします。詳細は、市ホームページをご覧ください。

政策経営課（千代田庁舎）

調査概要

期間	令和3年6月10日～30日
対象者	市内に居住する16歳以上の男女2,500人
抽出方法	住民基本台帳に基づく無作為抽出
調査方法	郵送による配布および回収

アンケート結果



性別

選択肢	回答数	割合
男性	514	46.6%
女性	568	51.4%
無回答	22	2.0%

年齢

選択肢	回答数	割合
10代	64	5.8%
20代	126	11.4%
30代	199	18.0%
40代	257	23.3%
50代	188	17.0%
60代	152	13.8%
70代以上	115	10.4%
無回答	3	0.3%

居住地区

選択肢	回答数	割合
霞ヶ浦中学校区	457	41.4%
千代田中学校区	233	21.1%
下稲吉中学校区	402	36.4%
無回答	12	1.1%

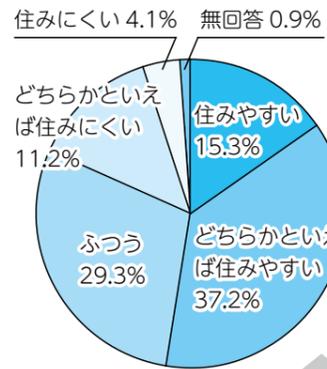
配布・回収状況

配布数	2,500票
回収数	1,104票
回収率	44.16%



※各項目の割合は、端数を四捨五入しているため、合計が一致しないことがあります。

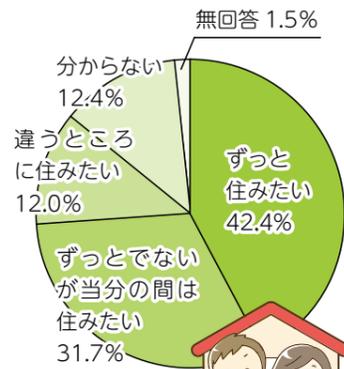
かすみがうら市は住みやすいですか？



市の住みやすさの満足度は高く、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」の回答を合わせて**52.5%**と過半数を占め、前回よりも**4.9%**増えています。



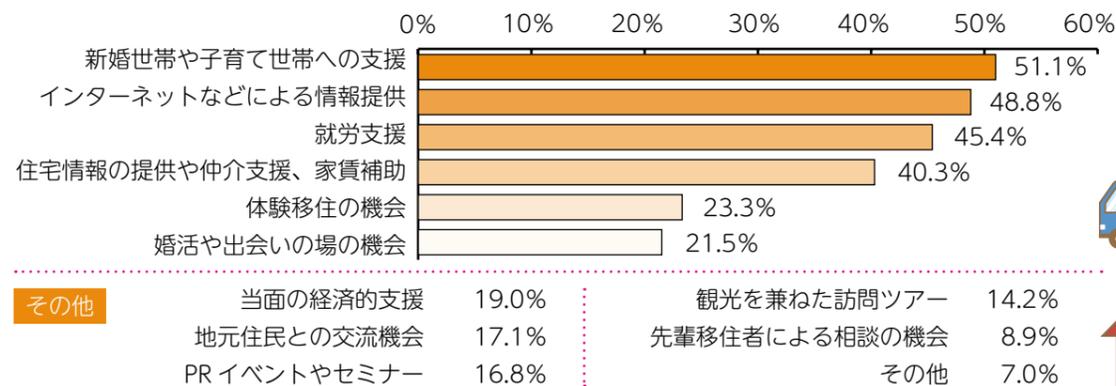
将来もかすみがうら市に住み続けたいですか？



「ずっと住みたい」が**42.4%**と最も高く、次に「ずっとではないが、当分の間は住みたい」が**31.7%**となっています。この2つを合わせた、市への定住意向は**74.1%**で、前回より**1.7%**増えています。



市への移住定住支援策としてどのようなことが有効だと思いますか？（複数回答）



5年前からの暮らしの変化について

暮らしの生活満足度を7つの柱に分けて、具体的な項目（49項目）ごとに評価を伺ったところ、5年間の暮らしの変化は、いずれも「変わらない」が最も多く、次に「やや暮らしやすくなった」が多い結果となっています。

変化内容	暮らしやすくなった (%)	やや暮らしやすくなった (%)	変わらない (%)	やや暮らしにくくなった (%)	暮らしにくくなった (%)	無回答 (%)	傾向
居住環境	4.8	14.1	66.5	8.7	3.4	2.5	「ごみ収集や処理」や「上水道の整備」、「下水道や雨水排水処理」などでは満足が多い一方、「空き家対策や活用」や「公園や緑地の整備」は不満が多い。
産業	1.4	9.7	77.0	8.2	2.0	1.7	「消費者支援」と「観光の推進」は満足も不満も多い。「農林水産業の振興」は満足が多い一方、「商工業の振興」は不満が多い。
都市基盤	2.3	18.8	67.3	6.1	2.4	3.3	「消防や救急体制の整備」や「利便性の高い道路整備」は満足が多い一方、「公共交通の充実」や「安全な歩道・道路の整備」は不満が多い。
健康福祉	2.1	11.0	76.5	6.5	2.3	1.6	「健康づくりの推進」や「医療保険制度などの充実」は満足が多い一方、「医療体制の充実」や「低所得者対策の推進」は不満が多い。
子育て若者支援	2.4	12.4	72.4	6.4	2.3	4.2	「保育サービスの充実」や「青少年育成活動の推進」は満足が多い一方、「子育て支援環境の整備」は満足も不満も多い。
教育文化	1.3	9.6	77.0	5.6	2.5	4.0	「学校教育の充実」や「生涯学習の推進」は満足も不満も多い一方、「地域文化の保全や活用」は満足が多い。
協働行財政	0.9	6.1	81.2	6.1	2.4	3.4	「行政サービスの向上」や「情報提供と市民意見聴取」は満足も不満も多い一方、「地域でのコミュニティづくり」は満足が多い。

自由記入による年代別の特徴



10代

居住環境についての記載がやや多く、図書館などの公共施設や商業施設への要望、駅前などの利便施設を望む意見がみられます。



20代

居住環境でも特に自然や環境保全などへの意見や都市基盤への要望がやや多く、観光などによる市の魅力向上への意見がみられます。



30代

子育てや教育などへの意見が多く、公園や子育てにかかる経済的支援、子育て世代への移住支援などの意見がみられます。



40代

学校や通学路、道路・歩道などの都市基盤整備への意見が多くみられます。



50代

まちづくりや行政の取り組みに対する意見や要望が多く、少子化対策や若い世代の意見反映などの意見もみられます。



60代

交通や道路などの都市基盤への要望や農業などの産業支援のほか、市民に寄り添う市政への要望もみられます。



70代

道路や交通機関などの都市基盤への要望のほか、若い世代や子どもたちの暮らしやすいまちづくりなどの意見もみられます。



自由記述の貴重なご意見は、今後の取り組みに反映させていただくとともに、行政運営全般の参考とさせていただきます。